

連続公開講座

ユーラシア農耕史—風土と農耕の醸成

テーマ1

# モンスーン地帯における 人と植物

## 受講料無料

受講申込制・定員70名

(先着順・定員になり次第締切らせて頂きます。)

同志社大学今出川キャンパス

## 至誠館23番教室

京都市上京区今出川通り烏丸東入

開演13:30

(開場13:00 全講座共通)

第2回 2008.6.14(土)

対談 自然科学からみたイネの起源と渡来

石川隆二・佐藤洋一郎

第3回 2008.7.12(土)

対談 米(コメ)の登場と稲作文化

中村慎一・若林邦彦・宇田津徹朗・佐藤洋一郎

※ テーマ2「米と命」(予告)

第4回 8.30 (土) シンポジウム コメと文化 神崎宣武・宇根豊・佐伯順子・佐藤洋一郎

第5回 9.13 (土) 鼎談 稲作と風土 藤井伸二・川野和昭・佐藤洋一郎

※都合により、出演者が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

主催・総合地球環境学研究所プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」

共催・同志社大学理工学部環境システム学科

協力・臨川書店

design by S.Wade

## 連続公開講座

# ユーラシア農耕史—風土と農耕の醸成

## テーマ1 モンスーン地帯における 人と植物

広大な地域にまたがり、さまざまな地形・気候を包含するユーラシアの人間文化は、各地で風土を形成し、その相互影響のもとでじつに多様な展開をとげてきました。このことは、直接自然を相手とする農耕活動においてとりわけ顕著にみられます。本講座のテーマ1「モンスーン地帯における人と植物」では、私たち日本人にとってもっともなじみのあるイネを扱います。遺跡から出土する植物遺物の科学的分析、特にDNA分析によって、稲作の端緒と伝播のプロセスが明らかになりつつあります。さらにそうした成果をふまえ、稲作文化の成立過程と文明的な意義についても再検討がすすまれています。これらの最新の研究動向を対談形式でわかりやすく解説していきます。

### 第1回 2008.5.17(土)

座談会:ユーラシアの風土と農業

立本成文(開講の挨拶)、佐々木高明・佐藤洋一郎

### 第2回 2008.6.14(土)

対談:自然科学からみたイネの起源と渡来

石川隆二・佐藤洋一郎

### 第3回 2008.7.12(土)

対談:米(コメ)の登場と稲作文化

中村慎一・若林邦彦・宇田津徹朗・佐藤洋一郎

\*本講座の内容は、臨川書店より『ユーラシア農耕史—風土と農耕の醸成』として各テーマごとに刊行される予定です。

\*申込方法は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAX(075-707-2508)にてご返信ください。もしくは申込項目をご記入の上、メール(emi-soei@chikyu.ac.jp)にてご返信いただいても結構です。FAX、メールのご使用ができない場合には、お手数ですがお電話か郵送にてお申し込みください。

## 総合地球環境学研究所

申込先: プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」  
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/>



〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4

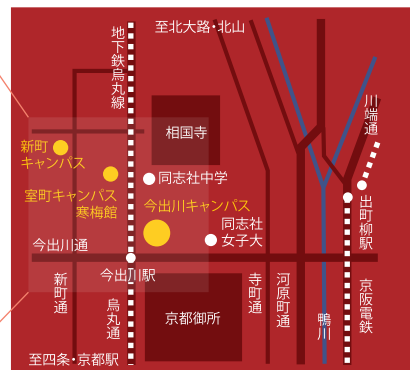
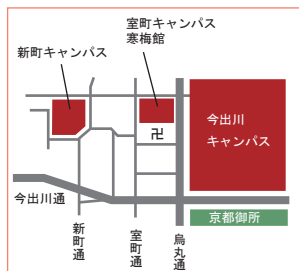
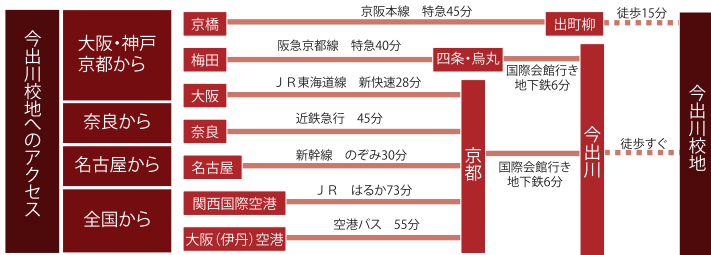
TEL: 075-707-2389 FAX: 075-707-2508 MAIL: sato@chikyu.ac.jp

## 会場:同志社大学・今出川キャンパス

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入 TEL:075-251-3120(代表)

\*講座に関してのお問い合わせは、地球研までお願い申し上げます。

- 地下鉄「今出川」駅から徒歩1分
- 京阪「出町柳」駅から徒歩15分



## 連続公開講座 ユーラシア農耕史 参加申込書

FAX: 075-707-2508

ふりがな  
お名前

ご同伴の方がいらっしゃる場合には、その方のお名前もご記入ください。

〒  
ご住所

TEL  
FAX

メールアドレス

参加をご希望される回にチェックを付けて下さい。  
 第2回 2008.6.14(土)  
 第3回 2008.7.12(土)

\*1回だけの受講も可能です。